

2024年6月13日
南海電気鉄道株式会社

～めでたいでんしゃ5編成目～ “はじまりの「めでたいでんしゃ」”の全貌を発表！



加太駅寄り車両 内装イメージ



“はじまりの「めでたいでんしゃ」”

外装イメージ



和歌山市駅寄り車両 内装イメージ

南海電気鉄道株式会社（社長：岡嶋 信行）では、2014年11月から、加太観光協会および磯の浦観光協会と共同で、加太線沿線の魅力を発信する「加太さかな線プロジェクト」を進めており、現在、めでたいでんしゃ4編成を運行しています。このたび、7月13日にデビューする、めでたいでんしゃ5編成目の“はじまりの「めでたいでんしゃ」”について、内外装デザインの詳細が決まりましたのでお知らせします。

“はじまりの「めでたいでんしゃ」”の概要

2000系車両（2両1編成）の内外装に装飾を施します。

外装は、加太の鯛を想起させるうろこ柄を配した車体デザインで、『太古といまと未来を結ぶ、かけ橋』を虹色で表現しています。（2両とも共通デザイン）

内装は、1両ごとに以下のテーマを設定しています。

- ・和歌山市駅寄りの車両…和歌山県内で発見された新種「ワカヤマソウリユウ」などが描かれた

「太古の記憶」

- ・加太駅寄りの車両…加太の未来への想いを形にした「未来への想いとSDGs」

1. 運行開始日時：7月13日（土）和歌山市発9：55
2. 運行区間：和歌山市～加太間 ※和歌山港線を運行する場合があります。



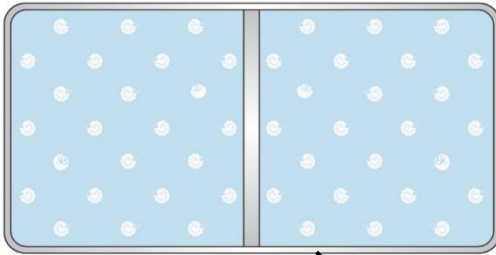
3. 内装デザイン

①和歌山市駅寄り車両

「太古の記憶」をコンセプトに、和歌山で化石が発見された古代生物や、化石版めでたいでんしゃロゴなどが散りばめられた、まるで太古の海の水族館にいるような「わくわく感」をお楽しみいただけるデザインです。

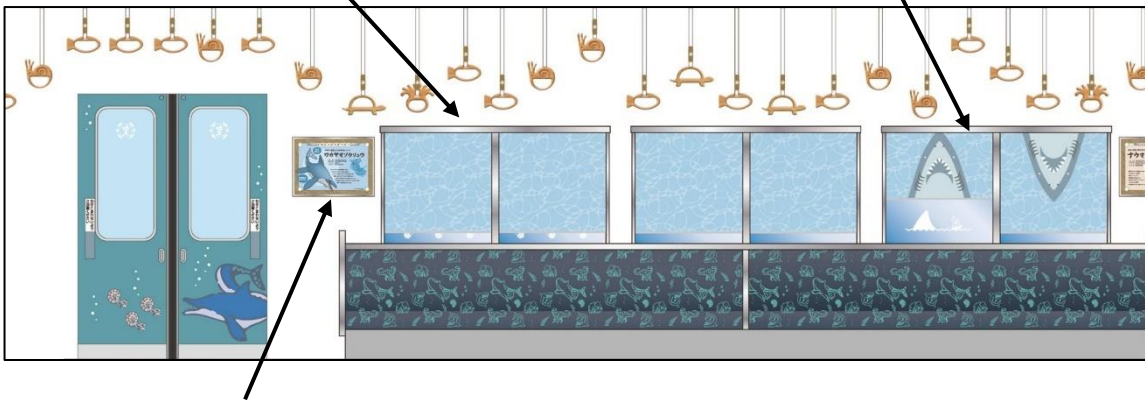
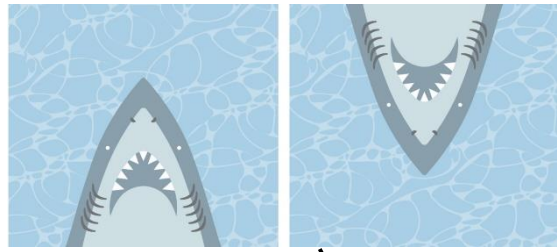
窓:

オウムガイと隠れアイテムが紛れ込む

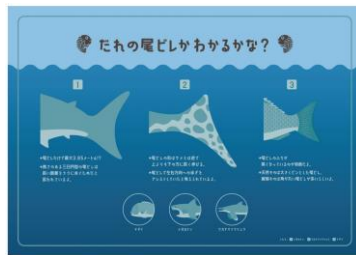


日よけカーテン(ロールスクリーン):

上下からメガロドンが現れる



額面ポスター枠:「和歌山古代生物ずかん」やクイズ、化石版めでたいでんしゃロゴを掲示。



ドア:海の中をワカヤマソウリュウと
パキディスカス・アワジエンシスが泳ぐ



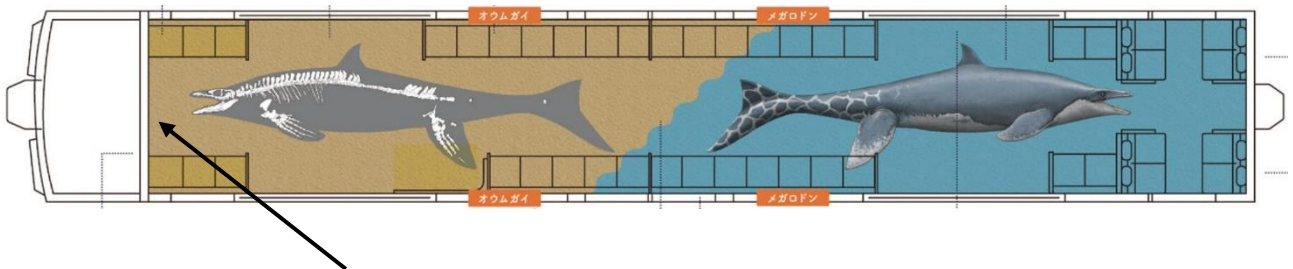
中吊り:太古の植物と海の生き物をデザイン



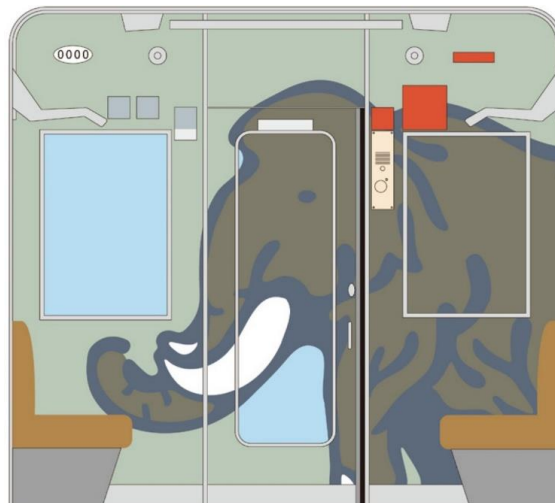
吊り革:吊り手はオウムガイ、クラゲなどの
の形



床面:原寸のワカヤマソウリュウ(約6メートル)とその骨格図がデザイン



和歌山市側前面:シートに座るとナウマンゾウの鼻ののっているように撮影できるフотスポット



※車両の内装デザインは、和歌山県立自然博物館に監修いただいています。

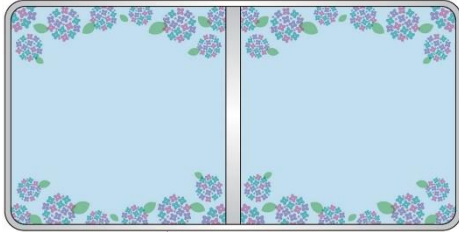
参考:「ワカヤマソウリュウ」の化石展について

“はじまりの「めでたいでんしゃ」” 太古の記憶エリアを監修した、和歌山県立自然博物館で7月13日(土)から9月1日(日)まで特別展「よみがえるワカヤマソウリュウ」が開催されます。

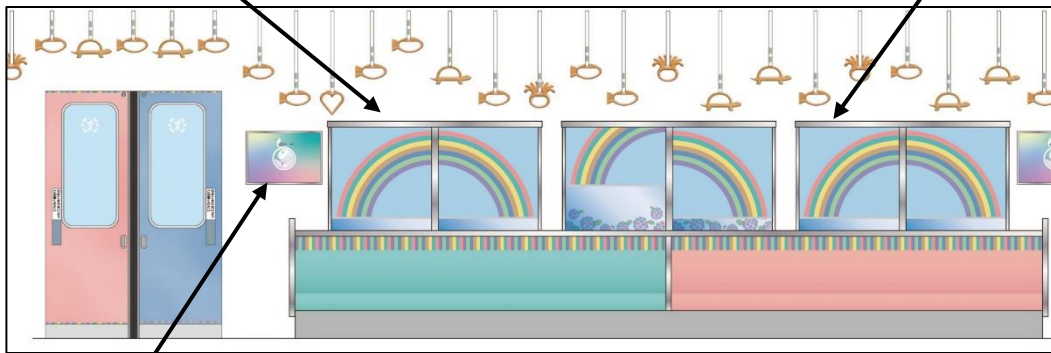
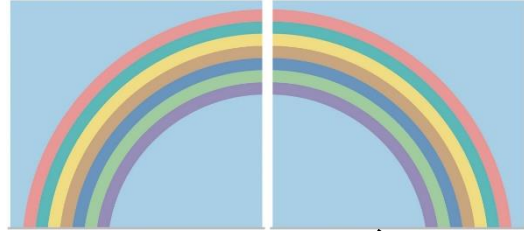
②加太駅寄り車両

「未来への想いとSDGs」をコンセプトに、未来へ続く扉が描かれたフォトスペースや加太の廃材や段ボールを使用したアート作品が飾られ、まるで虹の中にいるようなデザインです。

窓: 加太の森を守るため植樹している「あじさい」がデザイン



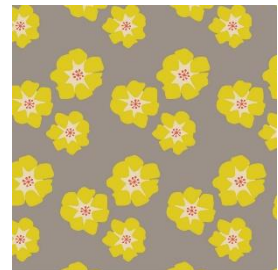
日よけカーテン(ロールスクリーン): ロールスクリーンをおろすと虹がかかる



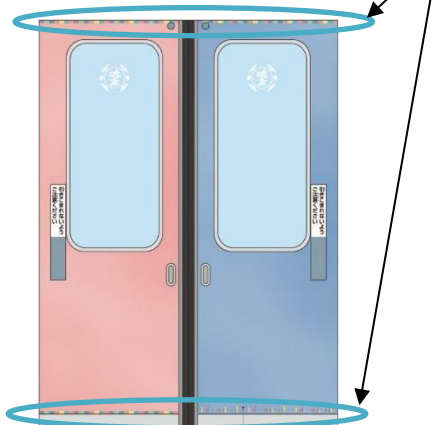
額面ポスター枠: 和歌山県のレッドデータブックに掲載されているウミネコとめでたいロゴのデザインや加太の廃材等を使用したアート



優先座席シート: 和歌山県の準絶滅危惧種ハマボウ柄



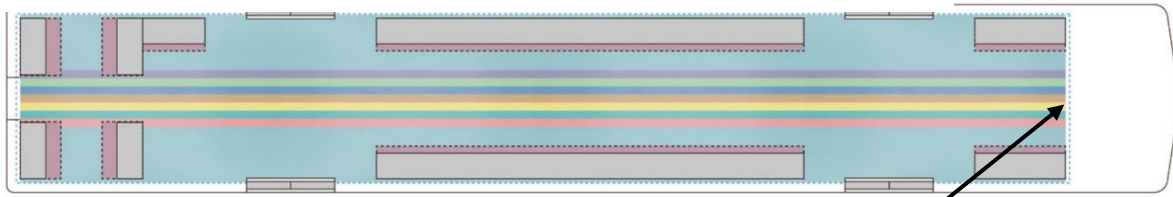
ドア: 扉の上下にアクセントとしてレインボーカラー。一つの扉のみウミウシが並ぶ。



吊り革: 吊り手はさかな、クラゲ、ハートなどの形



床面:空をイメージした床面に7色の虹のライン。



中吊り:地元アーティストが加太の未来への想いを形にした作品



加太駅側前面:床面からつながったレインボー
ストライプ。未来へ続く扉の前がフォトスポット。



4. 名称

“はじまりの「めでたいでんしゃ」”の名称は、7月13日に開催する運行開始セレモニーで発表します。

発表した名称は当日公式サイトでも公開します。

運行開始セレモニーの詳細は、同時に発表するニュースリリース「試乗会 & 運行開始セレモニーを開催!」
をご参照ください。

“はじまりの「めでたいでんしゃ」”ストーリー

加太に恐竜の時代から落ちているたまごがある、というウワサを聞いた「なな」。ある日、両親の「さち」「かい」、
そしておじの「かしら」と一緒にたまごを見に行くことに。

ウワサのたまごを4匹がのぞきこんだその瞬間、バリ…バリバリ。殻が割れてたまごからなんと、めでたい
でんしゃが！じつは、このめでたいでんしゃは、4匹たちのお～い先祖。

“はじまりの「めでたいでんしゃ」”だったのです。

でんしゃのなかは、太古の時代と、これからの未来への想いが盛りだくさん。太古といまと未来を結ぶ“はじ
まりの「めでたいでんしゃ」”が、加太さかな線を走りだします。

以上

加太さかな線を泳ぐ「めでたいでんしゃ」について

	名称	関係	運行開始日	車両
	さち	母	2016年4月29日	7100系
	かい	父	2017年10月7日	7100系
	なな	子ども	2019年3月31日	7100系
	かしら	さちの兄	2021年9月18日	7100系
	運行開始 セレモニーで 発表	とお〜い祖先	2024年7月13日	2000系

「めでたいでんしゃ」特設サイト：
<https://www.nankai.co.jp/kada/medetai.html>